

10. 感 覚 器

Sensorineural Organs

【1】期 間 2021. 4. 26～5. 17

【2】担当教員（◎は主責任者）

コース責任者 ◎谷戸正樹（教授，眼科学）
坂本達則（教授，耳鼻咽喉科学）
菅野貴浩（教授，歯科口腔外科学）

担当講座：耳鼻咽喉科・頭頸部外科学，眼科学，歯科口腔外科学

【3】一般目標 [G10 (General Instructive Objective)]

眼，耳，鼻（副鼻腔），顔面，口腔，咽頭，喉頭，気管，頸部の形態と機能を学び，これら領域における疾患の原因，病態，診断，治療，予防について学習する。

1. 眼およびその付属器の解剖を学び機能を理解する。
2. 眼科学的検査法と診断法を学習する。
3. 白内障，緑内障，網膜硝子体疾患，その他の代表的眼疾患の病態を理解する。
4. 白内障，緑内障，網膜硝子体疾患，その他の代表的眼疾患の治療法を学習する。
5. 内耳，中耳，外耳，鼻副鼻腔，口腔・咽頭，喉頭，気管，頸部の機能解剖を理解する。
6. 聴覚，平衡覚，嗅覚，味覚，嚥下に関する検査法について基本的な理解を深める。
7. 耳鼻咽喉科・頭頸部領域における疾患の病態，診断，治療について理解する。
8. 耳科手術，鼻内視鏡手術，頭頸部癌手術について基本的な理解を深めると同時に手術支援機器について学習する。
9. 顎・口腔・唾液腺・顎関節・顔面の解剖を学習し，その生理機能について理解する。
10. 顎・口腔・顔面に発生する疾患の病態・診断・治療について学習する。
11. 歯科口腔疾患の病態と全身および全身疾患との関連について学習する。
12. 周術期等口腔機能管理（口腔ケア）による全身との関連について学習する。

【4】総合評価

学習効果を試験やレポートで評価し，個人の到達度を見極める。

なお，COVID-19 感染拡大に関連し，学生の構内への立ち入りが禁止となった際には，オンラインでの試験もしくは課題レポートの提出で評価する。

【5】参考図書（◎は学生が購入すべき図書，他は図書館に備えてあります）

1. Vaughan & Asbury's General Ophthalmology (19th Edition) : Paul Riordan-Eva, Emmett T. Cunningham, Jr. McGraw-Hill Education.
2. Clinical Ophthalmology (8th Edition) : Brand Bowling. WB. Saunders
3. Ophthalmology : Principles and Concepts (8th Edition) : Newell FW Mosby
- ◎ 4. 現代の眼科学 改訂第13版 : 所敬他 金原出版
- ◎ 5. 標準眼科学 第14版 : 中澤満 他 医学書院
- ◎ 6. 新耳鼻咽喉科学 第11版 : 野村恭也、加我君考 南山堂
- ◎ 7. あたらしい耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 : 香取幸夫, 日高浩史, 二井一則
- ◎ 8. 口腔外科学第4版 : 白砂兼光・古郷幹彦, 医歯薬出版
9. 最新口腔外科学第5版 : 榎本昭二 他, 医歯薬出版
- ◎ 10. 口の中がわかるビジュアル歯科口腔外科学読本, クインテッセンス出版
11. イラストでみる口腔外科手術 第1～4巻 野間弘康 他 クインテッセンス出版

12. AOCMF Surgery Reference, <https://surgeryreference.aofoundation.org/cmfm/trauma>
13. EBM 耳鼻咽喉科・頭頸部外科の治療 2010-2011 :池田勝久, 武田憲昭 中外医学社
14. 頭頸部のCT・MRI : 多田信平 他 メディカル・サイエンス・インターナショナル
15. Principles of Oral And Maxillofacial Surgery volume1,2,3: Larry J. Peterson, et al..B. LIPPINCOTT COMPANY
16. An Atlas of HEAD and NECK SURGERY: Third Edition: Joseph M. Anain, et al..W.B.Saunders Company